

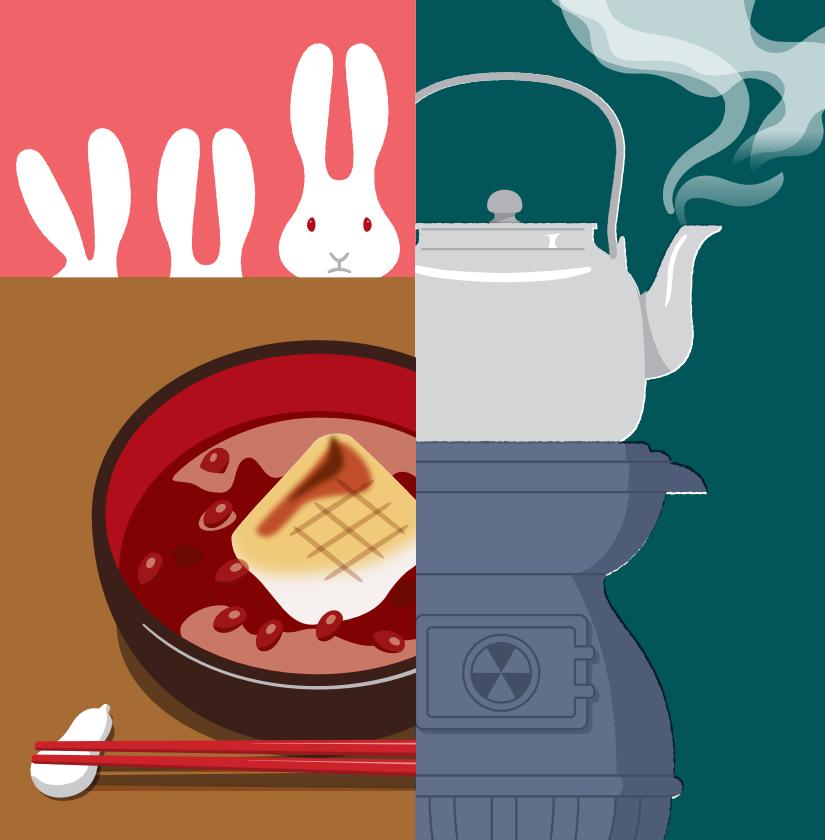


No.42
2017.1

Polaris

ポラリス

hokushin.jcho.go.jp

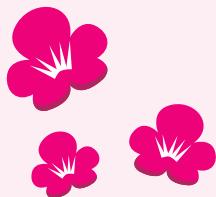


INDEX

- 院長から
新年の御挨拶 2
- 医療の現場から①
皮脂欠乏性湿疹(乾燥性湿疹)について 3
- 医療の現場から②
研修医日誌 4
- こんにちは 医療連携・相談室です
『医療法人 そらいろ
そらいろこどもクリニック』 5
- 手術ナビゲーションシステムを導入しました!
平成28年度クリスマスのタベ～開催報告～ 6
- いきいき健康教室のご案内
インフォメーション
●研修会のお知らせ(医療従事者対象) 7



独立行政法人 地域医療機能推進機構
JCHO札幌北辰病院



新年の御挨拶

院長 佐々木 文章



新年あけましておめでとうございます。

2016年はあまり上陸しない台風が3度も北海道を襲い、甚大な被害を与えました。さらに台風10号は上陸こそしませんでしたが暴風・暴雨によって十勝、上川等で広範囲にわたって被害をもたらしました。秋にはJR北海道から11路線、16区間の廃線候補が提示され、廃線・減便、運賃の値上げなどは避けられそうにありません。これが実施されると北海道の活力が失われることは明らかで心配です。道民が安心して暮らせる社会になることを願っております。

さて、将来の日本は高齢者がさらに増加し、労働人口が減り、少子化がつづき、医療の必要が増すにも関わらず、医療従事者の不足も加わり、財政的にもこのままでは将来の医療体制が破綻することは明らかです。このため国は医療の軸足を「治す・救う医療」から、「高齢者を支える医療・病を抱えて地域で暮らす医療」に移してきています。すなわち、「元気な世代が介護する」社会から、「高齢者が元気で自立し、もし弱っても地域社会で支え続ける」社会を目指すことになります。このことを具現化する体制が「地域包括ケアシステム」です。当院の地域包括ケアシステムにおける役割の第一は、地域の病院の後方支援です。病診連携、病病連携、病福(祉施設)連携を一層充実させていきます。病診連携としては、当院は地域のかかりつけ医からの紹介状を持った患者さんを主として診る病院であることを知ってもらいたいと思います。

また、当院は包括医療費支払い制度方式

(DPC)の病院であるため入院期間をできるだけ短くしなければならないという制約があります。幸いに厚別地区内で急性期治療を行った患者さんで後療法が必要な患者さんを連携病院で診ていただけるよう紹介する体制が出来つつありますので、これを活用して日常生活を行える状態になっていただけるようにいたします。

当院は厚別地区の急性期医療を担う中核病院です。厚別地区の住民の方々の医療・介護が厚別地区内で完結するよう、その中心で地域の医療機関と連携した医療を提供し、その役割を果たしていきたいと考えております。

本年も、関係者各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方にとってもこの一年が実り多い年となるよう心から祈念いたします。

これをもって年頭のあいさつとさせていただきます。



医療の
現場から

1

皮脂欠乏性湿疹 (乾燥性湿疹)について

皮膚科 安藤 佐土美



当科は2人の皮膚科専門医が診療を行っています。蜂窩織炎、帯状疱疹などの急性疾患の診療、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬などの慢性疾患の診療、および皮膚腫瘍の外科治療を行います。

地域医療支援病院の役割として入院が必要な患者さんの治療に対応し、一般クリニックの外来業務時間内には行いにくい、軟膏処置法の指導や生活指導に時間をかけて取り組むよう努めています。

今回は冬に受診者数が増える皮脂欠乏性湿疹(乾燥性湿疹)について紹介いたします。

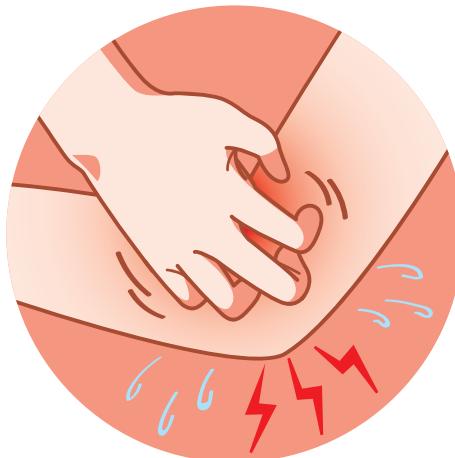
皮脂欠乏性湿疹は皮脂や角質細胞間脂質、天然保湿因子が減少した結果、乾燥肌の傾向が強くなることが原因と考えられています。乾燥肌の傾向は加齢に伴って、あるいはアトピー素因のような体质に伴って強くなることが知られています。さらに冬期は暖房を使用することにより屋内の湿度が下がるため、乾燥肌の傾向がより強くなります。乾燥肌の状態では皮膚バリア機能が低下し、外的刺激が皮膚の知覚神経に到達しやすくなるため、かゆみが生じやすくなります。かゆみにまかせて皮膚を搔爬すると皮膚バリア機能がさらに低下し、「痒いから搔く、搔くから痒い」という悪循環に陥ります。この結果、乾燥肌をベースに湿疹を生じる皮脂欠乏性湿疹にいたります。

皮脂欠乏性湿疹を治療するにあたり、当科で行っている指導を紹介します。一つ目は入浴習慣に関する指導、二つ目は正しい外用処置

法の指導です。皮脂欠乏性湿疹の患者さんは、入浴時に皮膚をナイロンタオルや手ぬぐいでこすっている方が多くいらっしゃいます。また入浴時間が長い、入浴回数が多いといった患者さんもいらっしゃいます。皮膚をこすることは搔くことと同様に皮膚バリア機能を低下させ、かゆみが生じやすくなります。石けんは皮脂を取り除く方向に作用し、湯船に長時間つかると湯水に皮脂が溶け出して皮膚が乾燥します。当院皮膚科外来では、適切な入浴法や入浴時間を患者さんのライフスタイルに合わせてアドバイスし、同時に保湿剤や湿疹に外用するステロイド剤の塗り方を実演しながら指導しています。

こうした指導を行うことにより、皮脂欠乏性湿疹の患者さんに湿疹が生じる機序や乾燥肌との付き合い方を学んで頂きます。

皮膚科診療を通じて地域の方々の健康に少しでもお役に立てることができれば幸いです。皮膚疾患でお困りのことがありましたらご遠慮なくご相談ください。





研修医日誌

初期研修医 野原 拓馬



現在、色々な科でお世話になっております、臨床研修医1年目の野原拓馬です。北辰病院での初期研修も残すところ半年を切ってしまったというところで、これまでの研修を振り返させていただきます。

4月、これまでマイペースな学生であった自分は、医師となり勤務を開始しました。と同時に、初めての一人暮らし(宿舎ですが)がスタートしました。詰まるところ、環境が一変したのです。働き始めの頃は、病院内・外で新たな体験の毎日でした。何と言いますか、その頃については業務内容を覚えるのに必死になっていた記憶しかありません…。とはいえ、今でも業務上で詰まってしまうことはあります。業務のことに限らず、分からぬことに関しては適宜先生方に相談させていただくのですが、丁寧にご対応いただけたことが殆どで、非常に有り難く感じております。教えを乞うハードルが低いことの素晴らしさを、他の病院で働く同期の話などを聞いてみると実感できます。現在は経験不足により見学に留まってしまう場面も多々あり、もどかしい気持ちでいっぱいですが、早く前線で現場を動かすことができるよう精進して参ります。

話は変わりますが、新しく病院で勤務するにあたり、新人研修なるものを春と秋に受講しました。学生時代のアルバイトを最低限に留めてきた自分



にとっては、この研修で社会人として、医療に携わる者としての心構えを学べたことはとても大きかったです。秋に受講した研修では、上半期の失敗体験や成功体験を他部門の新人の皆さんと共に振り返りました。グループワークでメンバーの話を聞いていると、誰しも思い悩みながら失敗や成功を体験していることがわかり、当然のことではあったのですが、肩の力が抜けると同時にこれからの体験も大事にしていこうという思いが生まれました。成功からと失敗からでは学べるもののが違う、ということも今後の学習に活かしたいです。

よく考えると、今まで失敗体験や成功体験の共有がしにくい状況でした。ですが、10月より新たな研修医の高野先生と須藤先生が加わり、研修医部屋が賑わったと同時に、同じ1年目の仲間ができたということで、更にモチベーションを高めて日々の診療に参加していきたいと思っています。下手で頼りない自分ではありますが、ここから変わらねばという思いがあります。残り数ヶ月の期間ですが、引き続きご指導のほどよろしくお願ひいたします。



医療法人そらいろ そらいろこどもクリニック

今回はそらいろこどもクリニック柳内 聖香院長先生にお話しを伺いました。平成25年9月に開院し、スタッフは、事務2名、看護師2名、看護助手1名で診療にあたっておられます。

スタッフの皆様の笑顔があたたかく、クリニック内にはスリッパがなく裸足で入れるため、遊びに来たような、アットホームな雰囲気です。

待合状況もwebで確認ができ、17:30まで受付も可能です。地域のお子さんや親御さんに寄り添ったクリニックです。

病院の特徴について教えてください

平成25年9月に厚別北の住宅街に開院しました。大好きな「そらいろのたね」という絵本からクリニックの名前をつけました。一般的な小児科診療に加え、アレルギー科として、アレルギー疾患の正しい診断と治療をモットーに、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーの診療に力を入れています。また、低身長や夜尿症の相談、思春期に見られる悩み相談など、時に漢方治療を取り入れながら行っています。「居心地のいいおうち」のような、何でも気軽に相談できる温かいクリニックでありたいと思っています。

医療連携に対するお考えをお聞かせください

開業するまで勤務していたこともありJCHO札幌北辰病院は大変身近な存在で、入院するお子さんのほとんどをご紹介させて頂いております。小児科をはじめ、小児科となじみの深い耳鼻科、皮膚科、画像診断のための放射線科など、いつも医療連携室を通して予約しています。忙しい診療の合間に、ファックスで受診の予約がスムーズに取れることは大変便利で助かっています。特に小児科の先生方には、いつでも快く紹介を受けて頂き感謝しています。これからもよろしくお願ひいたします。

医療法人 そらいろ
そらいろこどもクリニック

〒004-0075 札幌市厚別区厚別北5条5丁目1-7
TEL:011-375-8807 FAX:FAX 011-375-8808
<http://sorairo.p-kit.com/>

こんにちは
医療連携・相談室です
日頃、連携をさせて頂いている
先生方を紹介します。



▲院長先生とクリニックの皆様



◀窓がいっぱいの明るい待合室です。絵本や折り紙、積み木、親御さん向けのリーフレットがあります。



▲かわいい看板が目印のクリニックの外観です。





●手術ナビゲーションシステムを導入しました！

鼻副鼻腔疾患に対する内視鏡手術は多くの施設で実施されていますが、鼻副鼻腔は眼や脳などの重要な器官に隣接しているため、病気の出来ている場所によっては、合併症の危険性が高く、内視鏡下で

の手術実施が躊躇される場合もあります。

当院では、そのような症例を主に対象として、ナビゲーションシステムを併用した内視鏡手術を実施し、安全性を高めた手術を可能としております。

■手術ナビゲーションシステムとは？

「ナビゲーション」というと、皆さんの身近なところではカーナビゲーションが思い出されると思います。その原理と同じように「手術ナビゲーション」とは、手術中、どこの部位を触っているのかをリアルタイムで知らせてくれる装置のことです。カーナビゲーションはGPSという地球規模の位置測定システムをもとに、現在の場所を割り出して、車のいる場所を人工衛星で

追跡してその座標を取得し、地図上の合致する座標に、現在位置として表示するというシステムです。

これと同じように、手術ナビゲーションシステムは、手術室内に設置した赤外線センサーを用いて手術器具の位置測定を行い、コンピューター処理して、患者さんの地図（術前にとったCTやMRI）でどこに当たるかを表示するというシステムです。



●平成28年度クリスマスのタベ～開催報告～

12月15日(木)、毎年恒例のクリスマスイベントを当院1階エントランスホールにおいて開催しました！

今年はピエロのぐっちゃんにお越しいただき、パントマイムやバルーンアートのパフォーマンスをご披露いただきました。季節ならではのクリスマスリースやサンタ、トナカイなどのバルーンアートも作ってい



ただき、完成するたびに観客の方々からは大きな拍手と歓声が上がっていました☆

イベント中に行われたクイズの正解者にはクイズの答えと同じ動物のバルーンアートがプレゼントされていてとっても可愛かったです！

また、イベントに先駆け小児病棟と院内保育園にも訪問し、バルーンアートをプレゼントしました。怖がる子供もいましたが、バルーンアートのプレゼントに子供たちは大喜びで楽しいひと時を過ごしていました♪

お足元の悪い中、お越しいただいた皆様ありがとうございました。不定期ではありますが、今後もイベントを開催していくきますので、お気軽にお越しください。



●いきいき健康教室のご案内

当院では体験できる講演会をコンセプトとした「いきいき健康教室」を開催しています。

これまで「いきいきライフのための尿もれ予防!」や「家庭でできる転倒対策」など、毎回異なるテーマで講義を行い、骨盤底筋体操や転倒予防のためのトレーニングなど参加者全員に体験いただいています。

今年も様々なテーマで開催を予定しており、どなたでもご参加いただける健康教室ですので、ぜひお気軽にご来院ください!



●いきいき健康教室の今後の予定

開催月	テーマ
2017年 2月	糖尿病について (糖尿病内科 医師)
2017年 3月	薬のトリビア(予定) (薬剤師)
2017年 4月	今話題の細胞診で わかること(予定) (臨床検査技師)

●詳細が決まり次第当院ホームページでご案内いたします。
お気軽にお電話でお問い合わせください。

インフォメーション

【研修会のお知らせ(医療従事者対象)】

2月8日水
19:00~20:30 | 新さっぽろ栄養士連絡会
「血液のがん」(講師:当院 血液内科医)

3月8日水
19:00~20:30 | 新さっぽろ栄養士連絡会
「泌尿器のがん」(講師:当院 泌尿器科医)

●詳細が決まり次第当院ホームページでご案内いたします。お気軽にお電話でお問い合わせください。



外来担当医師一覧

平成29年1月1日現在

受付時間

午前/ 8:00~11:00

午後/12:30~15:00

●土曜、日曜、祝日は休診

面会時間

午後/13:00~19:30

予約及び予約変更受付

午後/14:00~17:00

●土・日・祝日を除く

●小児科のみは時間内で予約も変更も可能

診療科		月	火	水	木	金	備考	
総合診療科	午前	交代制※	若林	渡邊	若林	渡邊	※第1・4週:渡邊 第2・5週:若林 第3週:島田	
		中村	須藤	島田	中村	島田		
	午後(再来予約)	交代制※	若林/須藤	渡邊/島田	若林/中村	渡邊/島田		
内科	糖尿病	午前	増田	野田	野田	増田	※専門外来は予約制	
		—	相川	(増田)	相川	—		
	午後	—	—	—	野田	—		
	腎臓病	午前	佐藤	—	江端	—		
		午後	佐藤	—	江端	—		
	呼吸器	午前	相坂	高橋	成田	相坂		
		午後	—	—	—	—		
	消化器	午前	高木	福島	吉田/平田	高木	福島	
		午後	林	林	吉田	小笠原	平田	
	循環器	午前	北	(出張医)	—	北	北(ペースメーカー)	
			内藤	—	—	—	中原	
		専門新患外来	中野	北	内藤	中原	北/内藤	
		午後	—	中野	中原	内藤	中野	
	リウマチ科	午前	嶋村	—	—	加藤	—	
	血液	午前	—	—	安達	—	—	
		午後	—	安達	—	安達	—	
小児科	午前	東館	木澤	伊藤	稻澤	東館	※午後の一般外来は予約・紹介優先 ※専門外来は完全予約制	
	午後(専門外来)	(一般)	稻澤	—	稻澤	伊藤		
			第1・3週:伊藤(神経外来)	乳児健診(1歳まで)	東館(川崎病外来)	東館(心臓外来)		
			予約注射・予防接種(予約制)	—				
		第2・4週:木澤(リウマチ外来)	第1・3週:稻澤(血液/フォロー)	—				
		学童ワクチン	第2・4週:手代木(精神衛生相談)	—				
外科	外科 消化器外科	午前	下國	中川	藤居	藤居/蔵谷	佐々木 蔵谷	
		午後	下國	佐々木 中川	藤居	藤居/蔵谷	蔵谷	
	乳腺外科	午前	—	—	—	藤居/蔵谷	—	
		午後	—	—	—	藤居/蔵谷	—	
	ストーマ リンパ	午前	—	—	—	予約制	—	
		午後	予約制	—	—	—	—	
整形外科	午前	安藤	松本	安藤	松本	安藤	※ストーマ外来、 リンパ浮腫外来は予約制 ※第4金曜午前:林 ※脊椎外来は予約制	
		小林	小林	小林	小林	松本/林		
	午後	松本	松本	(手術)	安藤	手術/第4週:岩田 (脊椎外来)		
皮膚科	午前	松村	松村	松村	松村	松村	—	
		安藤	安藤	安藤	安藤	安藤		
	午後	松村	松村	安藤	(手術)	安藤		
泌尿器科	午前	松田	松田	松田	松田	松田	—	
		三橋	三橋	三橋	三橋	三橋		
		鈴木		鈴木		鈴木		
	午後	松田		松田		松田	—	
		三橋		三橋		三橋		
産婦人科	午前(婦人科)	足立	足立	足立	足立	足立	※火曜午後13:30~15:00 ※水曜午後14:00~15:00	
	午後(婦人科)	(手術)	足立	足立	(手術)	(手術)		
眼科	午前	廣瀬	廣瀬	廣瀬	廣瀬	廣瀬	※3才児健診は予約制 ※月・水曜日の受付時間は午前10時まで	
		櫻井	横山	横山	横山	横山		
	午後(予約制)	(手術/予約外来)	予約検査	(手術/予約外来)	予約検査	(手術/予約外来)		
耳鼻咽喉科	午前	(予約制) (手術)	(手術)	(予約制)	栗原	栗原 稻村	—	
	午後	(手術)	(手術)	(出張医)	稻村	予約検査・処置	※月・水曜日午前は予約制	
放射線診断科	午前	吉川	吉川	吉川	吉川	(検査)		
	午後	吉川	吉川	吉川	吉川	吉川		

※都合により代診・休診となる場合がございますので、事前にご確認願います。 ※各科の午後の(手術) (検査) (乳児健診・予防接種)は、診療時間の調整が必要ですので電話で確認してください。

JCHO札幌北辰病院広報誌「ポラリス」

発行責任者 佐々木文章

発行 〒004-8618 札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2番1号 JCHO札幌北辰病院

編集 広報部会 【事務局】総務企画課 TEL.011-893-3000

病院の
最新情報は

JCHO札幌北辰病院ホームページ

ジェイコー札幌北辰病院

検索

hokushin.jcho.go.jp

Facebookはじめました

<https://www.facebook.com/jcho.sapporo.hokushin>

